

平成21年10月26日

各 位

上場会社名 株式会社 北川鉄工所  
 代表者 代表取締役社長 北川 祐治  
 (コード番号 6317)  
 問合せ先責任者 取締役専務執行役員経営管理本部長 安藤 攻  
 (TEL 0847-45-4560)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,000	△800	△800	△800	△8.34
今回発表予想(B)	11,430	△1,700	△1,550	△1,400	△14.60
増減額(B-A)	△1,570	△900	△750	△600	
増減率(%)	△12.1	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	24,524	581	618	124	1.29

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,000	50	50	0	0.00
今回発表予想(B)	30,000	△2,000	△2,000	△1,900	△19.81
増減額(B-A)	△3,000	△2,050	△2,050	△1,900	
増減率(%)	△9.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	43,571	△605	△991	△2,476	△25.80

## 修正の理由

## 第2四半期累計期間業績予想の修正について

売上高については素形材事業のように政府景気対策施策効果から当初想定した売上が確保出来る部門もありましたが、工機事業は工作機械需要の回復が見られないことから見込み売上高の未達となり、産業機械事業、駐車場事業にそれぞれ工事完工の下期への期ずれも発生し、第2四半期予想売上高を下方修正いたします。

また、利益につきましても売上見通しを引下げたこと等及び景況の悪化から利益率の確保が難しい状況を踏まえ下方修正いたします。

## 通期業績予想の修正について

第2四半期累計までの見直しを変更したこと及び第3四半期以降も工作機械需要を中心に回復の遅れが想定されることから予想売上高を下方修正します。

また、利益につきましても売上見通しを引下げたこと及び利益率の高い工機事業の売上構成割合が当初見込みに比べて減少することが見込まれること、下半期も依然利益率の確保が難しいと想定されることから予想利益を下方修正いたします。

(注)上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上